

ガマンも限界！ベア獲得を

秋田・盛岡から仙台へ仲間が結集

速報
NRU
国労せんだい

No. 2515

2008年3月8日

発行責任者 橋本 昭二

編集責任者 武田 昌仙



挨拶する橋本議長

四百名を集約！

3月7日、仙台市「ハーネル仙台」において国労東北総決起集会が開催され、昨年より百名多い、約四百名の仲間が結集した。

主催者を代表して冒頭挨拶に立った東北協議会橋本議長は①春闘情勢②政治状況③和解を生かす取り組み④国労要求の前進⑤平和と民主主義を守るために護憲勢力の拡大・強化を訴えて、今年こそ大幅賃上げを勝ち取る年であるとし、総団結・総決起を訴えた。

来賓として、社民党・共産党・平和労組会議・東北交

国労東北総決起集会を開催


講演を行う松井氏

運労協からそれぞれ激励と連帯の挨拶を頂いた。

その後、恒例の学習会を開催し、講師として国労顧問の松井保彦氏（元中労委労働側委員）から「一括和解とその後」と題した講演を頂き、「一人の問題でも労働組合として守りきれぬか、闘えるかにかかっている」と我々に課題を投げかけた。

集会は秋田・盛岡・仙台の各地方本部及び貨物協議会

低賃金・労働強化はやめろ！



仙台市街地でシュプレヒコール！

その後四グループに分かれ、仙台市内を整然とデモ行進し、賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題、一〇四七名の早期職場復帰などの要求をシュプレヒコールで訴えて氣勢を上げた。

代表からそれぞれ決意表明を頂き、最後に秋田地本瀬下委員長の団結頑張ろうで締められた。

